

コウジ酸配合のスティック状製剤が 顔面の色素沈着の改善に有用であることを確認

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)は、慶應義塾大学医学部皮膚科海老原 全 准教授に、美白有効成分であるコウジ酸を配合したスティック状製剤を提供し、医師監修下での使用試験実施により、安全性と有効性を確認しました。その結果、紅斑や白斑など有害事象の事例はなく、色素沈着の改善に有用であることが明らかとなりました。この研究成果については、海老原 全 准教授により、5月8日発行の「診療と新薬」※1 2015年4月号に論文※2として発表されます。

※1 株式会社医事出版社発刊の月刊誌

※2 論文:「コウジ酸配合スティック状製剤の顔面色素沈着に対する有用性評価」

コーセーは、昨年美白有効成分としてコウジ酸を配合した新規なスティック状の医薬部外品製剤を開発し商品が発売しました。このスティック状製剤は油性固型タイプで、容器から繰り出して肌に直接使用するので、色素沈着部位に対し簡便かつ確実に塗布できることが特長です。この新規製剤を慶應義塾大学医学部皮膚科海老原 全 准教授に提供し、色素沈着の改善度を評価しました。26～56歳の頬部に色素沈着が認められる被験者21名(男性10名、女性11名)を対象に、2013年9月～2014年4月までの24週間、連続塗布を行い評価したところ、ほとんどのケースで「やや改善」、あるいは「改善」以上の効果が認められました。この試験期間中、紅斑や白斑、色素脱失を生じた例はありませんでした。さらに色素沈着が認められない16名の被験者についても24週間の連続塗布を行った結果、同様に有害事象は観察されませんでした。

今回の研究成果により、コーセーが新たに開発・発売したコウジ酸を配合したスティック状製剤が、色素沈着に悩むお客様に対して非常に有用である可能性が示されました。また安全性に関する評価結果から、本製剤が安全に使用できる製剤であることが明らかとなりました。

コウジ酸は「メラニンの生成を抑え、日やけによるしみ、そばかすを防ぐ」医薬部外品の美白有効成分です。コーセーは、1990年にコウジ酸を配合した医薬部外品のクリーム状製剤を発売して以来25年にわたり、色素沈着に悩むお客様に対してコウジ酸を有効成分とする医薬部外品を開発してきました。コウジ酸製剤は、長年ご愛用いただいている多くの方々から支持を得て、お客様のニーズとともに進化し続けています。

コーセーでは今後も、色素沈着の改善に有効な製剤の開発と検証を進め、安全で効果的な美白化粧品の応用開発へと役立ててまいります。

コウジ酸の有用性について

コウジ酸についての情報は、コーセー研究所ウェブサイトでも分かりやすく紹介しています。

◇研究所サイト・開発秘話

<http://www.kose.co.jp/jp/ja/research/secretstory/kojicacid.html>

◇コーセー テクノロジースペシャルサイト

<http://www.kose.co.jp/jp/ja/research/technology/kojicacid/>